

## 第 2 2 期 国立市社会教育委員の会（第 2 3 回定例会）会議要旨

平成 3 1 年 3 月 1 8 日（月）

[参加者] 柳田、倉持、市川、西川、牧野、間瀬、佐々木、三上、古川、河野

[事務局] 伊形、井田、大城

柳田議長 皆さん、こんばんは。まだお見えでない委員もいらっしゃいますが、定刻になりましたので、ただいまより第 2 3 回定例会を始めます。  
それでは、事務局から本日の資料確認をお願いします。

事務局 では資料確認をさせていただきます。  
本日第 2 3 回定例会の次第。資料 1 としまして、上に「修正箇所確認用」と書いてありますもの。資料 2 といたしまして、3 月 1 8 日付の生涯学習振興・推進計画素案について（意見）。資料 3 といたしまして、3 月 4 日付の要望書になっております。資料 4 といたしまして、こちらも 3 月 4 日付の全国社会教育連合第 3 回総会の報告及び今度の運営における意見聴取について（依頼）というタイトルのある文書。資料 5 といたしまして、東京都市町村社会教育委員連絡協議会的総会の開催について（通知）と書かれた資料。  
もう一つの山のほうでございますけれども、前回の第 2 2 回定例会議事録、公民館だより、図書室月報、いんふおめーしょん、とうきょうの地域教育を配付させていただいております。配付漏れはございませんでしょうか。

柳田議長 それでは議題に入りたいと思います。本日の議題は 1 点です。生涯学習振興・推進計画素案についての意見です。  
本日は計画素案への最終確認を行いまして、意見の確定をしたいと考えております。  
まず資料 1 を用いまして、前回定例会でご確認いただいた修正箇所について、最終確認を行って確定したいと思います。

事務局 済みません。資料の見方の説明だけ、資料確認のところで漏れてしまいましたので、させていただきますてもよろしいでしょうか。  
資料 1 と資料 2 の見方といいますか、説明をさせていただければと思います。まず資料 1 ですけれども、修正箇所確認用という名のとおり、前回定例会で出されました意見を受けまして、追加したところを赤字で、消したところを横棒の二重線で修正してあるものが、資料 1 でございます。  
資料 2 はその見え消し、赤字の形をやめましてきれいに、教育委員会へ提出する形にしたものとなっております。特に資料 2 のほうで、2 ページをごらんいただきたいんですけども、資料 1 のほうですとコメントのところは「コメントの追加」という文言になっているんですけども、前回骨子に対する意見のときと同じような形で、「意見」という形で見出しにさせていただいております。  
資料の説明は以上でございます。

柳田議長 ありがとうございます。  
それでは資料 1 を用いて、修正箇所の確認を行いたいと思います。  
前回定例会での修正箇所は、5 箇所となっております。まず重点意見として 1 4 ページのコメント [A 1 6]、1 9 ページのコメント [A 2 8] の網かけ、1 9 ページから 2 0 ページに渡ったところでコメント [A 2 9]、2 0 ペ

一ジのコメント [A 3 1] となっております。

それでは順に、確認をしていきたいと思えます。

まず重点意見、かがみの裏になります。3のところの3行目、「既存事業ですら1つしかなかったり」を漢数字にそろえるということになりました。こちらはよろしいでしょうか。

続いて4行目、「改めて」と「再」が重複しているということで、「再」をとって、「既存事業がないかを検討していただきたい」ということです。

重点意見についてはよろしいですか。

(「はい」の声あり)

柳田議長 ありがとうございます。

それでは14ページのコメント [A 1 6] をごらんください。こちらは「向上を目的とした」を「向上に寄与する」と修正ということでした。それと、4行目になります。生かがいや楽しみにつながる」というのを「生かがい、楽しみに」ということでした。こちらはよろしいですか。

(「はい」の声あり)

柳田議長 ありがとうございます。

それでは19ページをごらんください。コメント [A 2 8] で、本文の3行目、「このように」が網かけになっていなかったもので、「このように」までを網かけにするということでした。こちらはよろしいですか。

(「はい」の声あり)

柳田議長 続いて、20ページのコメント [A 2 9]、頭に「まず、」を入れるということ。そして4行目「21期答申に書いた」を「21期答申で挙げた学習機会の」というふうに修正ということ。こちらはよろしいですか。

(「はい」の声あり)

柳田議長 続いて、同じページのコメント [A 3 1]、3行目の「具体的な内容学習内容」と内容が重複しているということで、「内容」をとって「具体的な学習内容」というふうに修正ということ。よろしいでしょうか。

以上、前回指摘がありまして、意見として出されたものの修正箇所を、本日確認ということになります。

そのほか何か、お気づきのところはございますか。

それでは意見として確定していきたいんですが、その前に、本日要望書が出されておりますので、ここで要望書について、ご質問、ご意見をいただきたいと思えます。事務局から、要望書についてご説明をお願いします。

事務局 事務局でございます。資料3をお手元にご用意いただけますでしょうか。

3月4日付で要望書をいただいておりますので、簡単にご紹介させていただきます。

宛先は、第22期国立市社会教育委員の会の議長に対してとなっております。タイトルでございますけれども、「市民力量の向上」は市の計画には無用なものです。貴会の「意見」から削除してください」でございます。

こちらにつきましては、読み上げることはしませんけれども、ごらんいただければと思うんですけれども、前回の2月18日の定例会におきまして、14ページのコメント[A16]に「市民の力量の向上」という文言が入ったことになり、そこについて社会教育委員としてどのように考えているのか、最終行になりますけれども、一人一人の国立市民がやっていることについて、とやかく言うことは控えてくださいというような要望書となっております。簡単ですが、以上でございます。

柳田議長 ありがとうございます。  
それでは少し要望書をお読みください。

(資料3を読み込み中)

柳田議長 そろそろよろしいでしょうか。  
それではこの要望書について、ご質問、ご意見等ございますでしょうか。  
この要望書にもございますように、何か強制するとかそういうことは全く意図しているものではなくて、この「市民の力量の向上を」とってしまおうと、何を言っているのかわかりづらくなってしまおうんですが、コメントでは、「市民活動に参加する市民の」というようなことですので、やはり自発的なところから始まると、そういうような活動、何かやりたいことがあったときに、そのことが満足してできるようになる力を身につける、そういう環境整備というものをしてもらいたいということが本会の意図ではなかったかなと、私はこの会を通じてそういうふうにとめております。

そのほか、よろしいでしょうか。  
それではご質問、ご意見がないようですので、この資料2のほうも一旦ご確認をお願いしたいと思います。ただいまの資料1の修正したところが反映されているかどうか、確認をお願いしたいと思います。資料2が提出用となります。

(資料2を確認中)

柳田議長 では、よろしいでしょうか。  
それではお諮りします。ただいま確認をいただきました素案への意見ですけど、確認したとおりの意見として取りまとめ、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

柳田議長 ありがとうございます。それではこの形で、資料2のとおり提出をしたいと思えます。  
それでは事務局から、何かそのほかございますでしょうか。

事務局 はい。資料4をごらんください。  
「全国社会教育委員連合第3回総会の報告及び今後の運営における意見聴取について」というタイトルですけれども、都市社連協の上の組織である全国社会教育委員連合が、会計的に運営が厳しくなったので、各都道府県から集めている会費を値上げしたいということで、お話がございました。この値上げについては、前々からお話があったものですが、来月の4月に行われる都市社連協の総会で、意見を取りまとめたいということで都市社連協の会長市である武蔵野市から事前に意見聴取がございました。

理事宛てになっているので、議長と事務局で事前に協議し、意見をまとめさせていただいたのですが、お金にかかわるところなので、国立市としての回答をこの場で共有して、問題がないかというところの認識合わせをさせていただきたいと思います。

具体的な意見聴取の内容ですが、1枚めくっていただいて右上に「別紙2」と書いてある資料です。真ん中あたり、ピンクのマーカーを引いているところですが、毎年都市社連協から全国社会教育委員連合に7万円の会費をお支払いしております、これを7万円から10万円に上げるということについて、意見を伺うという内容になっております。

その回答について、選択肢が4つ用意されておまして、まず1つ目の選択肢Aは、「社教連の会費の値上げを認めます。7万円から10万円の差額3万円については、毎年各市町村が都市社連協にお支払いしている会費を2万5,000円から2万6,000円に増額して対応する。」

選択肢Bは、「社教連の会費の値上げを認めます。但し各市町村からの会費は値上げず、不足分は毎年設けている予備費から賄います。」という選択肢です。

選択肢Cは、社教連の会費の値上げを認めない。

選択肢Dは、その他案があればという選択肢になっています。

一番下に、『社協情報』の値上げについてとありますが、今の350円から500円に値上げするという案もありまして、そちらについては、各委員個人の意思によるところなので、都市社連協としては意見をまとめないというふうになっております。

実際の社教連の会計の状況ですけれども、右側のページ、第3回総会資料、こちらが3月1日に行われた社教連の配付資料です。その中から会計にかかわるところだけを抜粋して、皆様にお配りしています。

ページをめくっていただいて下のページ番号で7ページ、8ページとなっているところですが、こちらが平成30年度の予算と、31年度の予算になります。増減額という列を見ていただいてもわかるかと思いますが、かなりいろいろな項目で削減をされていて、特に人件費ですとか役員報酬、給料手当についてはかなり大幅な値下げをしているところです。その値下げをしても、かなり会計が厳しいというところで、会費の値上げの話が上がっているということになります。

次をめくっていただいて、下のページ番号が9になっているページです。現在、どれだけ会費が不足しているのかという推移ですけれども、平成28年度の決算額を見ていただくと、収入額が1,200万円ぐらいのところ、下段の支出額は1,800万円ですので、不足分として600万円程度、支出の3割程度が不足している状況となっています。平成29年度についても600万円ほど不足、30年度についてはまだ決算が済んでいないので予測にはなるんですけれども、大体400万円ぐらい赤字が出るような予測になっています。

下から3行目の項目のその他の詳細については、次のページ、10ページになりますが、大体大きいところとして全国大会ですとか、各地区の大会の負担金というところになっております。

次をめくっていただいて、下のページ番号11のページですが、今後どれぐらい不足していくのかという予測になっています。一番下の収支差額ですが、平成30年度が400万円、新元号3年度に向けて、350万から400万円ぐらいの不足が見込まれるという予測がされています。

12ページは、社教連として不足分に対する対応方法です。一番上の会費の値上げによる増収見込額は、各都道府県からの会費の値上げが1万円であ

れば68万円は増収額として見込まれ、3万円だったら204万円の増額が見込まれますということです。

『社協情報』について意見の取りまとめはこの場では行いませんが、500円に値上げすることで、201万円ほどの増収が見込まれるとなっております。

以上の会計の状況を踏まえて、議長と事務局のほうで事前にまとめた意見が、最後のページ、別紙3でございます。

国立市としては、選択肢Bの社教連会費値上げを認める、但し不足分は予備費で充てるというふうに回答したいと思っています。理由についてですけれども、人件費についてもかなり大幅な削減をしつつも、400万円というかなり大きい赤字があるので、値上げについてはやむを得ない状況かなと考えています。一方で、都市社連協の会計で予備費を、平成24年度以降7万円から50万円ぐらい設けておりますが、いずれも決算額が0円と全く使われていない状況になるので、まずは各市町村の会費を値上げすることよりも、予備費を充てることから検討していただきたいというふうに、回答したいと思っています。

事務局からは以上です。

柳田議長 ありがとうございます。

事務局より説明がございました回答案ですけれど、これについては私と事務局で確認して、合意した内容となっております。こちらで問題なければ、このような形で回答しようと思っておりますが、よろしいでしょうか。

倉持委員 ちなみに、国立市が支出している毎年の会費って幾らなんでしたっけ。

事務局 2万5,000円です。

倉持委員 この回答は、今年度に限るということなのか、それとも恒常的にということなんでしょうか。

事務局 平成32年度以降、恒常的にということです。

倉持委員 予備費がある間は、予備費でということなんでしょうか。

緊急的な対応としては予備費で、その次の年度からは会計そのもの、支出そのものを予算として組む、変えるんじゃないかと思うんですけど、都市社連協としての会費は変えないという方針ですよ、これ。2万5,000円は変えずに、支出のほうは毎年3万円上がっていくということですよ。

事務局 そうですね、予備費というのは、貯蓄的に取り置いているお金ということではなくて、都市社連協の毎年の支出分の中で予備費というふうに置いている部分がありますので、毎年予備費が何万円かありますので、その予備費をなくして、7万円から10万円の値上げ分に充てていくということになりますので、予備費から充てたところで貯蓄的なものが減っていくわけではないので、恒常的に支出していくことが可能というところもありまして、この選択肢Bにしているというところなんですけれども。

倉持委員 平成32年度だけ会費が7万円から10万円になるわけじゃなくて、32年度以降、ずっと10万円になるわけですよ。

事務局 はい。

倉持委員 そうすると、平成32年度の分は予備費から出すことに、今まで予備費として充てられていた7万円から55万円の分から出すことになると思うんですけど、既に10万円になると決まっていますわかっていてわかっている年度から組む予算は、33年度からは、そもそも支出が10万円という新しい金額がわかっているわけなので、これまで予備費に回していた分のお金から、10万円を充てていくということですよ。

事務局 はい。

倉持委員 現行は7万から55万円余っているから、毎年3万円ずつ値上げしていても、今まで予備費に回していた分から回していけば、何とかなるだろうという回答ということですね。

事務局 そうです。

倉持委員 予備費は最少でも7万円だから、何とかなるだろうという回答ですね。

事務局 はい。

倉持委員 これを出していいと思うんですけど、ちょっと他市の社会教育委員で、この議論をしたときに、確かに削減についてはかなり努力されていて、これだけマイナスできるんだなというのを感じたんですけど、この別紙2の検討事項にあるように、収入に見合った運営を検討していくというふうに書いてあって、毎年かなり、都市社連協から3万円増額する、ほかからもそうやって増額するわけですけど、増額しなくちゃ成り立たない規模、収入に見合った運営規模なのかということについての検討がなされたかどうか、という情報提供がなされていないじゃないかという、他市では議論があつて。

足りないということはこの資料でよくわかるんですけど、足りないから増やす前に、そもそも足りるような運営規模にするという検討をしたのかということについての情報が、実は私たちのところまで来ていないんじゃないかということで、その部分、今の規模で運営するにはお金が足りないから増やすという論理はわかるけど、今の運営規模そのものを小さくしましょうという議論は、どういう経緯になったんですかということがあった上で、会費を多く払うという議論になるのかなという話をほかでちょっとしたものですから、どうなのかなと。

そのうち都市社連協のほうでもお金がなくなれば、結局は各市町村からの支出も増やしていかなくちゃいけないということに、最終的になる可能性もあるわけで、今は29市入っているから、各自治体1,000円ずつアップでもいいけれども、こうやって2万5,000円でも、2万6,000円でも負担になるのであれば、そもそも都市社連協とか、全国社会教育委員連合から抜けようという自治体があってもおかしくない。そうなってくると負担は1,000円では済まないんじゃないか、というような議論もちょっとあつて。余っているから出すというだけじゃ済まないことも、長期的にはあるかなという議論をしたということです。

この選択肢Bで出すけれど、意見のところにもちょっとそういうふうに、情報開示してほしいみたいなこととか、将来的な部分というのとも考える必要があるんじゃないかとか、そういう意見を付してもいいのかなと思いました。

柳田議長 ありがとうございます。

今、倉持委員から他市の状況、議論内容をご提供いただきましたが、おおよその考え方はこの選択肢Bでよろしいですか。

今、倉持委員からお話がありましたので、その点についてはもう一度、事務局と確認して、回答について検討していきたいと思えます。

こちらでよろしいですか。

ありがとうございます。

そのほか、事務局からございますでしょうか。

事務局 私からもう1点、資料5をごらんください。

来月、4月20日に都市社連協の総会が、武蔵野公会堂で開催されます。こちらの出席可否を、4月7日日曜日中に、生涯学習課まで連絡をお願いいたします。

総会になるので、今回欠席される方は委任状のご提出が必要になります。次回の定例会は4月15日で、総会がその週の20日土曜日になるので、欠席される方は15日の定例会に委任状をご持参いただくよう、お願いいたします。

以上です。

柳田議長 ありがとうございます。総会のご案内でした。欠席される委員の方は、委任状を提出をお願いしたいということです。

そのほか、事務局からございますか。

事務局 次回の定例会の日程の確認をさせていただきます。次回は今期第22期の最後になります。4月15日月曜日の午後6時から、市役所3階の第3会議室で開催いたしますので、よろしくお願いいたします。

柳田議長 次回は第22期の社会教育委員の会定例会の最後ということになります。4月15日月曜日18時より、3階の第3会議室となります。

では、本日はありがとうございます。これで終わりにします。

— 了 —